

平成 27 年度 第 3 回  
堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会会議録

開催日時	平成 27 年 8 月 5 日 (水) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
開催場所	堺市立総合医療センター 1 階ホール
出席委員	岡原 猛 篠藤 敦子 杉本 壽 田中京子 (敬称略)
欠席委員	隈元 英輔 (敬称略)
行政出席者	中野健康福祉局長 北出健康部長 森 (浩) 健康医療推進課長 登山健康医療推進課参事役 安藤健康医療推進課長補佐 川崎健康医療推進課職員 森 (多) 健康医療推進課職員
堺市立病院機構 出席者	北村理事長 金万院長 横田副院長 大里副院長 谷口看護局長 小澤看護局次長 千葉職員支援センター長 石坂薬剤・技術局長 福島薬剤・技術局次長 寺口法人本部長 出未顧問 奥野総務人事室長 森経営企画室長 牛尾事務局次長 安井管理課長 吉田地域医療連携室次長 佐々木総括リーダー 児玉リーダー 渡部職員
案 件	1. 平成 26 年度 業務実績に関する評価結果報告書(案)について 2. 中期目標期間の業務実績に関する評価結果報告書(案)について 3. 平成 26 年度 財務諸表等の承認時の意見について 4. 積立金の次期中期目標期間への財源充當時の意見について 5. その他
会議の内容	別紙のとおり

## 1. 開会

- ・資料確認

## 2. 議事(1) 平成 26 年度 業務実績に係る評価結果報告書（案）について

### ◎杉本委員長

それでは、議事に入りたいと思います。

本日の予定は参考資料 1 のとおり、平成 26 年度の年度評価と中期目標期間中評価に係る 2 冊の評価結果報告書、そして積立金を次期中期目標期間に繰越す際の意見書などを決定していく予定となっております。

では、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。議事の（1）平成 26 年度 業務実績に関する評価結果報告書（案）について、説明をお願いいたします。

### ■事務局説明

- ・資料 1、資料 2 により、平成 26 年度業務実績に係る評価結果報告書（案）について説明。
- ・欠席された隈元英輔委員の意見について報告。

### ◎杉本委員長

事務局から、平成 26 年度 業務実績に係る評価結果報告書の説明がありました。平成 24 年度の会議で決まった様式で、作成された評価結果報告書案とのことでした。内容については、11 頁以降の小項目評価は、前回までの会議で、議論し決定させていただきました。大項目評価や全体評価については、前回、ほとんど、議論できなかつたかと思えますので、本日、何かご意見があれば、よろしく願います。

特に、隈元委員より大項目第 3 の評価については、評価 S が適当だと思ふというご意見を頂いております。これについて再度審議していただきたいということですが、皆様、どうでしょうか。

また、記述内容についても確認し、ここの記述は分かりにくい。こんな意見を追加してほしいなど、何かご意見をお願いしたいと思えます。

### ○岡原委員

評価 S にするためには、特筆すべき部分が何か強調してあるのかということが論点になってくると思えます。それがなければ、計画どおりに進んでいるということで評価 A が妥当です。

### ○田中委員

経常収支の黒字達成というところは、非常にながらんでおられると感じます。特筆すべきという部分に関しては、少し判断をしかねる部分です。

### ○篠藤委員

すごく難しいですが、岡原委員の言うとおり、何か特筆すべき部分が表れていれば、平成 26 年度については S 評価でも妥当かと思えます。黒字を達成し、収入を確保した部分に関しては、私も評価は S だと思いますが、費用の節減の項目に関して何かもっと強

調できる部分があればという気がいたします。評価として評価Aだと思います。

◎杉本委員長

特筆すべきという観点から、評価Aではないかというご意見をいただきました。それでは、評価委員会としては、評価Aということによろしいでしょうか。

●寺口本部長

委員長、特筆すべきというところで補足させていただきます。

まず、当院は、法人化する前の平成8年度から平成23年度までの間、経常収支は毎年赤字でした。特に平成23年度は、単年度で10億円の赤字があり、それに対して、中期目標期間中の3年間でマイナス10億円をプラス10億円にしようと病院経営に取り組みました。結果として、プラス10億に1.6倍の累積黒字を計上することができました。これは、急性期医療や高度な医療を提供するために必要な投資を行った上での結果です。

各年度の中でAという評価をいただいております。単年度では、その年だけということでは継続性が見えなかった部分があったと思います。今回、中期目標期間中最後の平成26年度、新病院の投資をしながらも3年間継続して黒字を達成できたという部分が、特筆すべき部分というところであります。

費用の節減については、ご指摘のとおり、収入の確保に対する人的な投資、材料費等の経費が明らかに増えています。しかし、経費だけ見ますと、直近平成22年度、平成23年度の平均と平成24年度、平成25年度、平成26年度の3年間の経費の額を見ると、約3億円下がっております。経費が下がった理由に、委託で任していたものを法人職員に切り替えたこと等々、細かい取り組みが多くあったのですが、3億円全て純減したと明確にお伝えすることはなかなか困難でした。そこで、薬品の値引き率等の一般的な書き方でしか表現できませんでしたが、今までの流れからすると、当院では、この3年間で非常に大きい変革があったということをご理解いただければと思っております。

○岡原委員

その点に関しては、他の病院も同じ取り組みをされていると思います。特筆すべきというのは、単に金額を下げただけではなく、市立堺病院独自でこういうことに重点を入れて取り組んできたとか、そういったことが特筆すべき部分になると思います。

●出未顧問

もし新病院の建設がなければ、大幅な黒字計上はできたかもしれません。新病院建設に関する投資を平成27年度以降で行うこともできましたが、若干の黒字を出しながら新病院に対しても投資していくという経営的判断を行ったことも事実です。我々としては「第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」のそれぞれの小項目「1 経常収支の黒字の達成」で評価5、「2 収入の確保と費用の削減 (1) 収入の確保」で評価5、「(2) 費用の節減」で評価4いただいているのであれば、計画どおりに進んでいる評価Aではなく、特筆すべき内容でないかと思っております。特に、新病院に向けての経営をしてきた、その中で収入の確保等を進め、経営的には工夫をしてきたという状況を踏まえて、評価をお願いしたいと思います。

◎杉本委員長

篠藤委員、大項目第3の評価については特筆というところまではいかないのではないかとというのが最初のご意見だったと思いますが、今の法人の意見を聞いて改めてご意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○篠藤委員

黒字達成の度合いや、収入の確保に関しては本当によくここまで3年間頑張ってきたなと思いますので、単年度評価というより、3年間の総合的な中期目標を達成したという部分で、評価Sにすることはあり得ると思います。

ただ、費用の節減に関しては、強調できる部分がどうしても見えにくいと思います。

◎杉本委員長

結論的に、評価はAのままですか。

○篠藤委員

年度評価は評価Aとして、中期目標期間中の評価を評価Sにしてはどうかと思っています。

◎杉本委員長

他の委員は、いかがでしょうか。

○岡原委員

黒字達成の部分を強調されますが、市から法定の運営費負担金を受けている訳ですから、病院の公的な部分や新病院の建設費用を差し引いて、その残りが本当の黒字であると思います。

この3年間を考えた時に、病院独自で将来に向かってこういうことに取り組んだというところが分かれば、本当に特筆すべきになると思いますが、そうでない場合には計画どおりに進んだということで私はいいと思います。

◎杉本委員長

委員皆様のご意見をまとめ、平成26年度大項目第3の評価は評価Aということにいたします。過去の赤字の状態から黒字になるということは非常に大変なことだったと思います。法人側の気持ちはよく分かりますが、評価Aということにいたします。

年度評価結果報告書について、いただきましたご意見をまとめますと、記載内容そのものについて修正すべき箇所はないと考えています。平成26年度の業務実績に関する評価結果報告書については、これで決定いたします。業務実績評価の基本方針による評価決定時の法人の意見申立ては、中期目標期間中の評価結果報告書を審議した後、まとめてご意見をお聞きしたいと思います。

### 3. 議事（2）中期目標期間中の業務実績に関する評価結果報告書（案）について

#### ◎杉本委員長

では、議事を進めます。

議事の（2）中期目標期間中の業務実績に関する評価結果報告書（案）について、説明をお願いいたします。

#### ■事務局説明

・資料 3 により、中期目標期間中の業務実績に関する評価結果報告書（案）について説明。

#### ◎杉本委員長

事務局から、中期目標期間中の業務実績に係る評価結果報告書の説明がありました。

中期目標期間中の業務実績の評価につきましては、前回、時間の都合もあり、ほとんど、議論ができなかったように思っています。本日は、評価についても、ご意見をいただき、評価を決定しつつ、結果報告書の記述を確認してまいりたいと思います。

今までの議論によりますと、大項目第 3 の評価について、単年度は A であるが、中期目標期間中については、S でもいいのではないかというご意見がありました。その辺りを含めて、ご意見いかがでしょうか。

#### ○岡原委員

基本的に異議はありませんが、気になるのは看護師の確保についてです。確保のために近畿圏外を訪問したとのことですが、他の病院では、看護師を含めた将来の医療従事者の確保のために赤字を覚悟で看護学校の運営に力を入れられているところもあります。そういう取り組みを行ったところが評価 S にあたるのではないかと思います。

#### ●寺口本部長

当院の方も、何年も前から人材確保のために近畿圏外を訪問しております。一定の人材確保ができるように、費用対効果を考えながら、少しずつ投資を増やしていこうとしているところです。

確かに、看護学校は運営していませんが、看護学校の実地研修を受け入れ、年間たくさんの研修生を受け入れるための必要な投資はさせていただいております。

#### ○田中委員

私自身は、看護師の確保、すごく頑張っておられると思います。各病院、看護師をいかに確保するかというところは問題になっている中で、平成 26 年度、看護師を 100 人増やされているという実績はとても努力されていると思います

#### ●出未顧問

看護師の確保については重点的に取り組んできました。人材を確保してから、いかに職員満足度を上げるかというところが一番大きな課題でありましたが、当院で勤務している看護師が自ら情報発信し、約 100 人の看護師を確保できたことは、当院が働きやす

い職場環境であることを証明できたと思います。

◎杉本委員長

やはり、ここで働きたいと思う病院には良い人材が集まり、働きたくないと思われれば人材は去っていきます。経営やお金の面ではなく、職員のやる気ややりがいに注目して取り組みをされた結果が、看護師確保にもつながっているのだろうと思います。

では、財務内容の改善である大項目第3に係る評価について、平成26年度の年度評価は評価Aですが、中期目標期間中の評価を評価Sにするのかどうかというところです。特にこの3年間で大きな成果が得られているというのであれば評価Sでいいと思いますが、いかがでしょうか。

○篠藤委員

評価Sにするのであれば、判断理由の書き方を変えなければいけないと思います。費用の節減の最終評価が4であるにもかかわらず評価Sという評価をするのであれば、この記述では何かすごい費用削減への取り組みをしたのかが分かりません。

◎杉本委員長

評価Sには近いけれども、評価はAに留めておくべきというご意見でしょうか。

○篠藤委員

はい。やはり単年度の評価を並べ、判断理由の記載を見れば、そのような気がいたします。

◎杉本委員長

各年度の評価がすべて評価Aであっても、それぞれが評価Sに近い評価Aということであれば、中期目標期間での評価は評価Sと評価することもあり得ると思います。しかし、今回の場合は、評価Sに近い評価Aが妥当ではないかというご意見でしたが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、そのような評価にいたします。

記載内容そのものについて修正すべき箇所はないということで。中期目標期間中の業務実績に係る評価結果報告書については、これで決定いたします。

さて、平成26年度業務実績と、中期目標期間中の業務実績とに係る、2冊の評価結果報告書を正式に決定していきたいと思います。先程も言いましたように、業務実績評価の基本方針で、「評価委員会は、評価結果の決定をする際、法人に、評価結果(案)に対する意見申立ての機会を与える」ことになっております。

法人は、何か意見がありますか。

●北村理事長

意見申し立ての機会をいただき、ありがとうございます。

先程、委員の皆様より、平成 26 年度は限りなく評価 S に近い評価 A をいただきました。大項目評価において、平成 24 年度評価 A、平成 25 年度評価 A、平成 26 年度評価 A が 3 年間通して A 評価になるのか、それとも S 評価になるのかご判断頂きたいと思えます。

当院のこの 3 年間をみますと 60% の収益増を達成できたということについては、評価 S をいただけないかというのが、正直なところであります。当院の特に優れた項目について評価の再考をしていただきたいと考えております。

#### ◎杉本委員長

評価 S に対する重みづけを、どう認識するかだと思います。

法人側の意見を聞いて最終的な結論を出すということになっています。平成 26 年度、あるいは中期目標期間中の評価を通じて最終的な評価を決定していきたいと思えます。いかがでしょうか。

#### ○岡原委員

結局のところ、各年度の評価がすべて評価 A であっても、最終的には評価 S と評価することもあり得るのと思えます。なぜなら、各年度の評価 A という評価の中にも、良いところがたくさん入っている訳ですから。3 年間の総評価は評価 S となってもいいと言っているのが、私の意見です。

#### ●寺口本部長

評価方法について確認しておきたいのですが、年度の評価に関しましては、評価 A と評価 S の違いは、特筆すべき進捗があったかという判断基準になると理解しております。中期目標期間中の評価に関しましては、3 年間の実績が中期目標を大幅に上回ると評価 S、中期目標を達成すれば評価 A というところになります。

先程、ご意見でもありましたとおり、単年度評価の特筆という部分に関して不足があったとしても、中期目標期間中の評価では 3 年間を通じて中期目標を大幅に上回った場合は S 評価をいただけるということで、3 年間の経常収益が 10 億円から 16 億円と、中期目標を 160% 大幅に上回ったというところで、S 評価をいただけるものと考えておりました。

#### ○篠藤委員

確かに収益目標を大幅に上回るのは事実であります。この点を評価するのであれば、評価は S でもいいと思えます。あとは書き方について、ここを 3 年間、中期計画の期間を通してこうであったと、もう少しアピールした書き方をしていただきたいです。

#### ■安藤健康医療推進課長補佐

今回の評価結果報告書案の判断理由の記述についてですが、評価 A の場合の案として書かせていただいております。当然、評価を評価 S にする場合は、委員のご意見を反映させた上で、記述内容も変更いたします。

◎杉本委員長

皆様のご意見をまとめますと、平成 26 年度に関しては評価 A、中期目標期間中に関しては目標を大幅に上回っているということで評価 S ということにしたいと思うのですか。よろしいでしょうか。

また、判断理由に関しては、評価 S にふさわしいもの書き直し、その案に関しては、委員の皆さんに確認していただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

では、平成 26 年度の年度評価としては評価 A、中期目標期間中の評価は評価 S にいたします。

#### 4. 議事 (3) 平成 26 年度 財務諸表等の承認時の意見について

◎杉本委員長

では、次の議題に進みたいと思います。

(3) 平成 26 年度 財務諸表等の承認時の意見について、事務局から説明をお願いします。

#### ■事務局説明

- ・資料 4 により、平成 26 年度 財務諸表等の承認時の意見について説明。

◎杉本委員長

第 1 回の会議で、堺市長が財務諸表を承認する際の評価委員会の意見については、意見なしということでしたが、今回、改めて事務局から確認事項について報告がありました。また、昨年度と同様の意見書(案)が示されました。問題がなければ、このまま承認したいと思います。いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、市長への意見書は本日付けで資料のとおりとさせていただきます。  
ありがとうございました。

#### 5. 議事 (4) 積立金の次期中期目標期間への財源充當時の意見について

◎杉本委員長

では、次の議題に進みたいと思います。

(4) 積立金の次期中期目標期間への財源充當時の意見について、事務局から説明をお願いします。

#### ■事務局説明

- ・資料 5 により、積立金の次期中期目標期間への財源充當時の意見について説明。

◎杉本委員長

各年度に黒字が発生した場合、積立金に積立て、中期目標期間の終了時に、評価委員会の意見を聴き、積立てた積立金のうち堺市長が認めた額を次期中期目標期間へ繰越す



という制度であり、第1期中期目標期間終了時の積立金、約12億円を、全額、次期中期目標期間に繰越すことを考えている。という説明でありました。

事務局からも説明がありましたように、独立行政法人化以降、医療の質の向上を図りつつ、様々な努力を行い経営改善に取り組んだ結果、毎年度、黒字を達成し利益を生み、法人が積立てたものであることから、より良い病院づくりのため、病院の財源に充てるのが適当と考えますが、委員の皆様、いかがでしょうか。また、意見書についても問題がないかと思いますが、どうでしょうか。

(異議なし)

それでは、市長への意見書は本日付けで資料のとおりとさせていただきます。

## 6. 議事 (5) その他

①平成28年度 評価委員会のスケジュールについて報告。

### ■ 事務局説明

・参考資料4により、平成28年度の評価委員会の開催スケジュール案を説明。

◎杉本委員長

平成28年度のスケジュールについて、何かありますでしょうか。

○岡原委員

非常に集中して開催するという考えもありますが、委員の欠席等を考慮すれば、6月頃からの評価委員会の開催はできないのでしょうか。

### ●事務局

法的に、法人側から提出していただく財務諸表等の提出期限が6月末となっており、資料作成等を考慮すると、7月中旬等からの開催となってしまいます。議会への報告日程も考えると集中的な開催となってしまいますが、ご容赦をお願いいたします。

○岡原委員

わかりました。仕方がないですね。

②堺市立病院機構の平成27年度計画について報告。

### ■ 事務局説明

・参考資料5により、堺市立病院機構の平成27年度計画について説明。

◎杉本委員長

堺市立病院機構の平成27年度計画について、何かありますでしょうか。

(異議なし)

## 7. 閉会

- ・挨拶（中野健康福祉局長）

### ◎杉本委員長

予定しておりました議題は以上ですが、他にご意見はよろしいでしょうか。

第1期の中期目標、私自身は非常によくやられたとっております。それぞれの病院にとって非常に厳しい医療環境のなかで、大きな赤字を抱えていた市立堺病院が黒字に大きく転換されています。黒字もさることながら、それぞれの職員の皆様が、自分たちの働きがいや、やりがいを非常に感じながら仕事をされていると容易に想像ができます。北村理事長、金万院長等、それぞれの方の努力の結果がここにあらわれたのかなと思います。3年間の間によくここまで転換されたなというのが私の率直な意見です。

一方で、患者様に対する満足という部分について、どのように取り組んでいくのか。患者様の意見に是非とも耳を傾けていただきたいと思います。患者様のポジティブな意見も集めて活かしていけるように、理事長、院長をはじめ、職員の力を合わせて、取り組んでいただければと思います。

それでは、本日の評価委員会を終了させていただきたいと思います。

### ■事務局（森健康医療推進課長）

杉本委員長、ありがとうございました。

本日、頂きましたご意見は、会議録として事務局の方でとりまとめた上で、各委員に送付いたしますので、内容のご確認をお願いします。

本日は、長時間にわたり、各委員の皆様方にはご審議いただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度 第3回 地方独立行政法人 堺市立病院機構 評価委員会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。